



もう終息してほしい・・・世界中の人々が同じ思いではないでしょうか・・・

毎日増えていく発症数にだんだんと当たり前のように過去最大の数と流れていく情報。でも本当は4月の時よりもっと真摯に受け止め、これからの対応や今どうするかを考えていかないといけないはずなのに人の感覚が麻痺してしまっているように感じます。

前月は皆様には大変ご心配をおかけしました。通常の生活に戻りつつあった時期に突然入ってきた情報に保育園も戸惑ながらの対応になってしまいました。何を優先に情報をお伝えすることが必要か、でもその裏には個人情報があり守秘義務も守っていかねばならず、随分悩みました。

「情報開示」・・・情報を明らかにすることという意味ですが、今回のように大変デリケートな案件には難しい対応を迫られました。わが子や家族の健康や生活を守るためにたくさんの質問もありました。その理由も、不安もわかりながら最低限の情報しか届けられず、申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかしそんな中でも私たちの健康状態を気にかけてくださる方や、できるだけ休むことで協力していただいた方もあり、心配する中でも職員や保育園のことを優先して下さる方が多く本当に感謝します。何よりの力になりました。

少し保育園自体が落ち着いたときに近隣の施設で利用者の方からの感染。その情報があいまいな表現・特定しにくい情報また、消毒をしたのちすぐに再開すると聞き、立場が変わると「もっと的確な情報が欲しい」「そんな対応では不安だ」と思う自分たちがありました。

これから、まだまだ気は抜けませんが、保護者の方々、職員が心を一つにして「見えない敵」に立ち向かっていきたいと思います。

そんな難しい中、子どもたちは新しい生活にいち早く順応し、毎日楽しめています。こどもの力はすごい！食事の仕方・手洗い・うがい・人との間隔など知らず知らずのうちに身につけてきています。〇のしるしに座る・ハイタッチも手は合わせないなどのルールが作られ守られています。

また、保育園生活の中で保護者の皆様の入室をご遠慮いただいています。様々なところに子どもたちの作品や遊びが展示されています。

今年は行事も縮小・中止となってしまいそうですが、お子様の様々な可能性や力は体験や失敗から生まれてきます。特に最終学年のだいち組のお子様にはたくさんの制約の中でも「やりたいこと」「やってみる」「やれた」を繰り返すことで「自分もできる」の気持ちを培ってほしいです。今の状況ではなかなか無理はできませんが、できることを精一杯させてあげたいと思っています。先日頑張って苦楽園まで歩いた園外保育や御前浜での出来事など。その場所でのそれぞれの子供たちの思いはたくさん見えました。そうです！このまま終わってしまうわけにはいきません。「コロナにまけるな！」の精神力で日々援助していきます。

行事等は子どもの成長をお知らせしながら行い、保育者が援助していきます。

これからの生活

8月～9月中旬

9月後半～10月初旬

様子を見ながら再開

金魚すくいを楽しむ・魚つかみをし、魚の命をいただく

幼児（5歳児）（新入園児）個別保護者面談で意見交流

ダンディタイム・フラダンス

長雨の7月でしたがようやく梅雨が明けました。

今年は大雨による災害で心配なニュースがあちらこちらで多く報道されています。

私たちの住む地域・園の周辺でも同じようなことが起こったとき、「身の安全を守るためには、どのようにすべきか」「自分の命は自分で守る」と考えたことはありますか。かえで保育園の子どもは月一度の

避難訓練などで「安全」や「命」の話を保育者がしたり、皆で考えたりする時間をもっています。

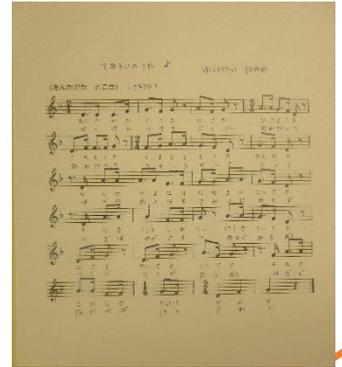
災害がいつ起きてもおかしくない今、是非ご家族でもお子さまを交えて話し合ってみてください。

感染予防対策として続けている生活「密を避ける」ことで、幼児クラスの子どもの気持ちにも変化がみえてきました。今までは「だいちになったら」「お兄ちゃん・お姉ちゃんみたいになれたら」といぶきもひかりも「やってみたいこと・やってほしいこと」など自分の気持ちを言葉で言うことが多くなってきたように感じます。

一人ひとり気持ちを大切にしながらこれからも生活を組み立てていきたいと思います。

かえで保育園で歌っています。「手洗い歌の替え歌♪」

主幹保育教諭 藤森 寿美



先日、Aちゃん（だいち組）Bちゃん（ひかり組）と話している時のことです。

“家族ってなんだろう”という話題が上がりました。

しばらく一緒に頭を悩ませましたが、なかなかこたえは見つかりません。AちゃんもBちゃんも「わからないなあ」と園庭へあそびに出かけました。そして15分程経った時、がらりと窓が開き、園庭からBちゃんがお話してくれました。

「あのさ、かぞくってさ、きもちいいんだと思う。」「どうしてそう思うの？」

「だって、おうちでお風呂入ってる時とか、おふとんで寝る時も、きもちいいなあと思って。」

きっと、家族という時間を思い出しているうちに、あたたかい気持ちになったのですね。

「そんな素敵な家族に、先生も入りたいな」とお願いしたところ、Bちゃんはおうちの方に相談してくれたようです。“先生を家族に入れるかどうか”真剣に考えてくれるまっすぐなBちゃん、かえで保育園もBちゃんにとって“きもちいい場所”でありたいと思いました。

主幹保育教諭 河本 彩奈

～先生コーナー

7月に入りセミの鳴き声を聞くと「あ、今年も元気な夏がきたなあ」と感じます。

子どもたちはセミや虫を見つけると「せんせいみてみて～」「捕まえたよ」と素手でセミなどたくさんの虫を捕まえて見せてくれます。小さい頃は私もかえで保育園の子どもたちと同じように蝶々やセミをあみでつかまえては家に持って帰っておじいちゃんと一緒に育てていたことを思い出しました。ですが、大人になるにつれ虫を捕まえる事や触る事もできなくなり、思いっきり素手で触れる子どもたちを見るとすごいなと感心します。

なぜ大人になると触れなくなるのかと思いますが、かえで保育園の中で飼っている生き物で唯一触れられるのがかめのもりぴーといっちゃんです。子ども達が天気の良い日はもりぴーといっちゃんと園庭の築山で一緒に散歩している時のこと「先生もりぴーお家に戻してあげて」と言われ、カメの甲羅しか触ったことない私はこどもたちに「どこをもったらいいの」と聞きました。すると「お腹のところ！」「けど爪気をつけて」と言われ初めてその時に持ち上げ、カメを触れるようになりました。

これをきっかけにこれからの一歩としてこの夏は、まずは虫や生き物のことを子どもたちから学び、バッタやかえるなど子ども大好きな虫や生き物をみたり、触れたりする楽しさを感じていきたいと思います。

植木 雅

～めばえぐみ～

ねらい：「あついね、すずしいと気持ちがいいねを感じよう」

うた：「こぶたぬきつねこ・イッポンバシ・ボウス」

9人揃っためばえ組での生活がはじまりました。先生にたくさん抱っこしてもらって園にも慣れてきました。先生から離れてハイハイや歩いて探索できるようにも…。7月は雨続きで思うように園庭で遊ぶことができませんでしたが、ついに本格的に暑い夏がはじまりますね、できるだけ早い時間に園庭にでて水に触れたり、冷たい氷に触れたり気持ちいいという経験もしてみたいと計画しています。水分補給をしっかりとたくさん遊んだ後には先生とお部屋で歌をうたったり絵本を読んだりゆったりと過ごしていきます

～トンネルあそび～

お部屋に大きなトンネルが届き、不思議そうにトンネルの外につかまり立ちをしてみたり、伝い歩きでまわりをぐるぐる回ってみたり、様子を伺うように遊んでいました。数日経つと、トンネルの向こう側に見える先生を見つけてハイハイで通り抜けてにっこり。それからは、お友だちのお尻を追いかけてトンネルで追いかっこをして楽しんでいます。子どもたちと先生で遊んでいましたが、ふと気が付くとトンネルの中にいるお友だちを外から覗いて見たり、「ばあ」と言ってみたり、先生としていたことをいつの間にかお友だち同士で遊んでいました。

トンネルは子どもたちの中で一人の空間で落ち着ける場所にもなっているように寝ころんでごろんとしてリラックスしている様子も見られます。



～おともだち～

先生に抱っこで慣らし保育を過ごしていためばえ組の子どもたちですが、抱っこされながらも他のお友だちの存在に気付きはじめました。

先生から離れてお部屋で遊んでいたら、“お友だちが 大きな声をだしてるなあ”

近づいて顔を覗き込んで見ると“ん？ ないてるの？”“どうしたのかな”とじっと顔を見ておもちゃをどうぞと渡してみる。そのあとも泣いているお友だちが気になって離れきれず・・・。

泣いてはしまった慣らし保育ですが、先生に抱っこをもらったり、おもちゃを渡してもらったりしたことをしっかりと覚えてくれていました。まだ言葉で伝えることができないめばえ組の子どもたちですが、安心できる場所だと思えた時にはお友だちにも気持ちを少し向けることができる優しい心をこれから大切に過ごしていけたらいいですね。



“担任の思い”

慣らし保育が思っていたよりも短くなって、保護者の方も少しの不安を残して復帰された方も多いと思います。お子さまそれぞれに、“抱っこしてほしい”“もっとご飯がたべたい”“抱っこで寝たい”“お外は嫌だ～”など色々なことを泣いて伝えようとしてくれています。その思いに一つひとつ答えていくことで少しずつ遊んでみたり、笑ってみたり、ご飯を食べてみたり毎日の成長がすごいめばえ組です。この成長と一緒に喜び合って保護者の方も子どもたちも安心して過ごせる場所になってくれたら嬉しいです。暑い夏はこまめに水分補給をして夏バテにならないよう乗り越えましょう

立田瑛怜菜 宝田聖美 柴原ちはる

～ふたばぐみ～

ねらい：「水あそびを楽しもう」

うた：「しゃぼん玉」「むすんでひらいて」「オッタコオッタコ」

7月には雨の日が多く部屋で過ごす時間が多くありましたが、少しずつお日様がでて暑さを感じる日が増えてきました。園庭遊びが大好きな子ども達は、保育者の「お外行こうね」の言葉に反応し、嬉しそうに帽子を被り一目散に園庭へ行きます。つぼみ組や幼児がしているしゃぼん玉や色水遊びを同じようにやっている姿が見られます。今ではしゃぼん玉はどのクラスよりも上手になりました。これからも異年齢と関わりながら模倣遊びを大切に自分の好きな遊びを見つけられるよう生活していきます。

“お絵かき”

室内遊びでは、クレヨンや絵の具を使って大きな紙にお絵描きをしました。先生がブルーシートや模造紙を広げると、子ども達は「なにをするの」「はやくしたい」とじーっと先生を見つめている子ども達。順番に名前を呼ぶと、自らクレヨンや筆を握りしめ、力いっぱい描き始めました。クレヨンの時は、「どれにしようかな」と迷う姿や2つや3つなど何個も持つ姿がありました。ぐるぐる描いたり、点々を描いてみたりと子ども達の思うままに描く子ども達は笑顔や真剣な顔など、様々な表情を見ることができました。絵の具の時は、大きく腕を動かしながら大胆に描いていました。気付くと紙だけでなく手や足などいろんなところに絵の具をつけて楽しそうな子ども達は、紙の白い部分がなくなるくらい夢中になって遊んでいました。



“友だちと一緒に”

友達を見て「ほくもやりたい」と同じ遊びやポーズをしてみたりと可愛い子ども達は、先生や周りのお友だちの真似っこが大好き。友達同士で繋がる何かがあるのか顔を見合わせてにこにこ楽しそうに笑いあっていました。一人、二人と友達の真似っこが増えていき、気づくとみんなで同じことをしている時もあります。園庭でも、砂場で皿やカップを並べご飯を食べていました。「なにつくっているの」と聞くと、「ケーキ」「アイス」などいろんなことを伝え、「どうぞ」と渡してくれます。「おいしいね」と言うと友だち同士でにこにこして「ねー」と楽しそうな子ども達です。時には、同じおもちゃを取り合うこともあります。友だちに「どうぞ」と渡してあげる姿や泣いている友だちによよしと頭をなでる姿など優しい姿をたくさん見られるようになりました。お友だちを意識して「どうぞ」「いいよ」と関われるようになってきました。これから友だちとの関わりが増え、たくさんお話していくようになると思うと楽しみです。

“担任の思い”

毎日の生活の流れも理解していて、自分で出来ることもどんどん増えてきました。自分でできたという自信が次も「やってみよう」という気持ちに繋がっていけるように、側で見守りながら、子ども達の気持ちの背中を後押しできるように援助をしていきたいと思っています。

また、水に触れる機会もどんどん増えていきます。たくさん体を動かして遊んだ後は十分に水分補給もしながら夏を感じて過ごしていきたいと思っています。

～つぼみぐみ～

ねらい：「夏ならではの感触遊びを楽しむ」

うた：「しりとりのうた、ミツ矢サイダー、さんまのひらき」

雨が続いた日もありましたが、晴れた日には気温が上がり、照りつけるような暑さになりました。7月も半ばになるとセミの鳴き声が聞こえ始め、園庭にもちらほらとセミの姿が見られるようになりました。ダンゴムシや蝶々、カナブンやセミ、たくさんの生き物と出会い、季節を肌で感じ自然と触れ合うことができたと思います。これから夏本番、水遊びや泥遊びなどの夏らしい遊びをたくさん楽しみたいです。



“みんなのスーパーてるてる”

7月は雨の日が続き「あめふってる、おそといけないよ」と寂しそうにお話していた子どもたち。そんな雨の日には「スーパーてるてる」という絵本が大人気です。

たくさんのてるてる坊主が雨を吹き飛ばす場面を見て毎回ハラハラドキドキした様子。無事に雨雲を吹き飛ばして晴れるとほっとした顔を見せてくれます。

つぼみ組さんも「てるてるぼうずつくりたい」とさっそくてるてる坊主を作りました。自分で色を選んで、顔を描いて個性豊かなてるてる坊主がたくさんできました。お部屋の前に飾ってみんなで「あーしたてんきにしておくれー！」とお願いすると…。その日のお昼から外は晴れ、いいお天気になっていました。みんなの願いが届いたねと大喜びのつぼみ組さんでした。

今後も雨の日などには製作活動を取り入れ、作ることの楽しさや完成した時の喜びをたくさん味わえるように、子どもたちの「やってみたい」を大切にしていきたいと思います。

“アサガオの花”

つぼみの部屋の前で育てていたアサガオが綺麗な花を咲かせました。5月に種まきをしてから毎日水やりをして、花が咲くのを今か今かと楽しみに待っていた子どもたち。

7月になり、少しずつ花が咲き始めると「わあ！おはなある！」とアサガオの成長に大喜びしていました。みんなでじーっとアサガオの花を観察していると色の違いや大きさの違いに気付き、興味津々な様子。



そんな子どもたちを見て、アサガオの花を長く楽しめるようにと、アサガオのたたき染めをしました。

みんなで大事にお花を採っていき、たたき染めに挑戦すると「どうやるの？」「むずかしいなあ」と一生懸命な様子。

少しずつ叩いて色を移して、もうできたかなとそーっと覗いてみると、みんなとても上手にたたき染めができました。

これからこのアサガオがどんな作品になるのか…。

完成までお楽しみにしててください！



“担任の思い”

毎日の遊びの中で、少しずつ「お友達と一緒に」が増えてきました。同じ玩具をもって喜んだり、協力してパズルを完成させたり、お友達の遊びに参加したり…。泣いている子がいると、顔を覗き込み心配そうにしている姿も見られます。友達との関わりの中で自分の思いを言葉で伝えることも出来るようになってきました。これから子ども同士の関わりが広がり、たくさんの感情を知ることで、相手の気持ちを考えられるようになってほしいと思います。

～いぶき・ひかりぐみ～

ねらい：「泥遊びや水遊びを思い切り楽しむ」「遊びのなかで友だちとのやり取りを楽しむ」

うた：「なみとかいから」「せかいじゅうのこどもたちが」

7月は雨の日が続きましたね。大人にとっては憂鬱な雨の日でも、子どもたちはカッパを着て雨の中探検に出掛けたり、にじみ絵を楽しんだり、盆踊りや体操で身体を動かしたりして、過ごしました。

久しぶりに太陽が顔を出すと、「おひさまがでたぞ！！」と嬉しそうに園庭を走り回る子どもたち。

8月でも水や泥など夏ならではの遊びを楽しんでいきたいです。

“あついあつい 夏の日”

気温が高くなる日が増えてきて、本格的に水遊びや虫取りを楽しむ姿が見られるようになってきました。

セミの鳴き声が聞こえてくると、虫あみと虫かごを持って一目散に園庭へ走り出します。

なかなか届かないところにセミがいたら、踏み台を持ってくる子、落ちないように踏み台を支えようとする子、周りで応援する子など、自然と役割分担が始まります。集中して捕まえることができた時には、大喜びの子どもたちです。そんな光景を見ると今年も夏がやってきた！と感じます。



“いらっしゃいませ！”

お部屋ではパン屋さんやジュース屋さんなどお店屋さんごっこが盛り上がっています。

パン屋さんでは粘土を使ってこねたり、伸ばしたり…。様々な形に見立てて作っていきま。へびパンやきのこパン、虹パンなど様々なパンの形が出来上がると、かまどに入れて焼きます。

自分で10秒数えると、「チン！」とベルを鳴らして「パンがやきあがりましたよ～！」と知らせてくれます。お店に様々なパンを並べては、毎日大繁盛です。

ジュース屋さんでは、紙テープをたくさんちぎって、いろんな味のジュースを作ります。



色の混ざりを楽しんだり、太陽にジュースを当てて、色の変化を楽しむ姿も見られました。

また、看板作りにも挑戦しました。絵画遊びで使ったイーゼルに大きな紙を立てかけて、誰でもすぐにジュース屋さんがあることがわかるようにと思いを入れて作っていました。

テラスから見えるマックスバリューやたこ焼き屋の看板をよく観察したり、「たしか31はこんな感じやった…」と意見を出し合う姿も見られました。



“担任の思い”

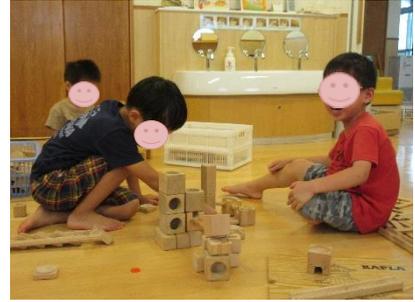
クラスで活動する時間よりも、異年齢で過ごす時間が多いこともあり、自然と年下の友だちを気かけたり、年上の友だちに頼る姿が見られるようになってきました。いぶき組だけでは難しいことも、

「いぶき組だからできない」ではなく、ひかり組やだいち組の子ども達が手伝ってくれたり、挑戦しているところを、そばで見守ってくれていたりします。そういった姿を見ていると一人ひとりの得意なところや、個性を子ども同士で認め合っているように感じます。集団で過ごすからこそ感じる思いや一人ひとりの姿を大切にしてお過ごしていきたいです。

林 奈津美

～一緒に考える～

子どもたちは水路作りやビー玉転がしに夢中です。どのように組み立てると上手くいくのか試行錯誤しながら友達同士で取り組んでいます。「真っすぐしたのがいる」、「これは？」といろんな物で試し、傾斜を付けたりしながら工夫して組み立てています。うまくいくと拍手して「やった！できた！」と喜んでいました。



それぞれ発想も考えも違うことから互いに分かち合えたり、時には意見や思いが合わずぶつかり合うこともあります。様々なことを異年齢と一緒に経験することで、考えることや友達との関わりが深まり、相手の思いを知るきっかけになるんだなと思います。好きな遊びを通して子ども同士の関わりが増えている今、そっと見守り一人ひとりと寄り添い、関わりながら私自身も楽しみたいと思います。



～いーれて！～

ある日の出来事です。「一緒にこれしよ！」と2人で協力し、重たい平均台を「よいしょ、よいしょ！」と掛け声をしながら2つ繋ぎ合わせると、じゃんけん遊びを始めたいぶきさん。グラグラと笑い声が聞こえてきて楽しそうな様子でした。そんな姿を見ていただいち組のお友達がいました。にこにこしながら2人の元に走って駆け寄ると「いーれて！」といぶき組のお友達に話しかけていました。それを聞きたいぶきさんは、2人顔を見合わせてにっこり。「いいよ～」と話し、3人で遊び始めました。だいち組の子は3人では少しもの足りないように感じ、周りを見渡していました。すると、自然と違う遊びをしていただいちさんが駆け寄り、「入ってもいい？」と話しかけます。来てくれたことが嬉しかったようでした。しばらくすると、じゃんけん遊びを始めた子どもたちがたくさん見られました。そんな姿を見るとなんだか私も嬉しく、とても微笑ましかったです。



“担任の思い”

異年齢で過ごす時間は、生活や遊びの中で年下・年上の様々な関わりが見られます。一緒に過ごすことで助け合ったり、共に考えたりするそんな姿を見てほっこりします。お兄さん・お姉さんの姿を見て「やってみたい！」という気持ちや、年下の様子を気にして、「どうにかしてあげたい」という思いから一緒に考え、挑戦しようとする姿も見られます。子どもたちにとって毎日の異年齢での関わりが大きな刺激になっていると日々実感しています。それぞれの個性を大切にしながら、興味を持ったことや好きなことを私自身が感じ取り、その出来事を担任間で共有し合いながら過ごしていきたいと思います。水路作りや蝉取り、お店屋さんなど夏ならではの遊びを思いっきり楽しむ中で、遊びが広がる集団の関わりや一人ひとりのやってみたいことが実現できるよう楽しく過ごしていきたいです。

～だいちぐみ～

ねらい：「夏の遊びを工夫して楽しむ。」「身の回りのことを自分でする」

う た：「きっとできる」「だいだいだいぼうけん」「なみとかいから」

「ずっと雨だね」と子ども達が呟く程、今年は梅雨の時間が長く感じましたね。部屋で盆踊りをしたり、ジュース屋にパン屋さんのごっこ遊びなどそれぞれの場所で友だちと関わり方も変わってきています。最近ではセミの鳴き声が聞こえてくると「虫取りちょうだい」「どうやったとれるかな」と子ども達で協力する姿も見られます。鉄棒をしたり、大縄跳びを一緒に跳んで「見て、こんなに汗かいちゃった」とシャワーの後の様に濡れている髪を嬉しそうに見せながら次は水路作りと遊びに向かいます。暑い夏もあっとゆう間に過ぎていってしまうのかなと感じます。だいちとして1つの出来事をじっくり話し合う機会やできないことへの挑戦から一歩自信をもつことができるような季節ならではの遊びを経験できる時間を大切に過ごしていきたいと思えます。

“ひみつの時間”

いつも賑やかな声が聞こえる保育園も、お昼寝の時間は鳥の鳴き声や風の音が聞こえるほど静かです。日中はいぶき、ひかり組の異年齢での関わりから、お世話する方法を知ったり、水路づくりや大縄跳び、鬼



ごっこなど様々な場所で関わる姿も見られるようになってきました。友だちとの関わりを楽しむ一方で「折り紙したかったけどもうご飯の時間だ」「パズルしたいけど友だちとも遊びたいからな…」と1人でじっくり遊びたい様子も見られました。人との間隔を空けることを意識し、1台の机に1人で座り自分の好きなこと、興味のあることに集中して取り組むことができるようこのひみつの時間をつくりました。

はじまるまでに遊びたいものを自分の机に用意して45分間過ごします。始めは「45分って結構長いね」と準備していた遊びがすぐに終わってしまったりと“時間”を体感していました。体感したからこそ分かったこともあり「パズルもできるよね」「のりも持って来たらよかったかな」と遊ぶ玩具を増やしたり、制作ではゆっくり丁寧に作ったり、準備物を確認する姿も見られます。ひみつの時間を始めて1週間経った頃には「え！もうおやつ時間！？」「じゃあ続きは明日のお楽しみにしよう」と時間を忘れるほど夢中になって取り組んでいる子もいます。「これっていぶきさん、ひかりさん知らないんだよね」「じゃあ『ひみつの時間』だね」とだいちさんだけの特別な時間になっています。どんな事をしているか子ども達に聞いてみてください。

“きっとできる！”

7月から体操が再開し、サーキットから身体をおもいっきり自由に動かすことを楽しんでいます。サーキット中はコースが変わって後半には段数の高い跳び箱やマットで前転や鉄棒で逆上がりなど新しいコースが増えます。やってみたことがないことに「やっぱりできないかな…」「もうやめとこう」と失敗してしまうかもしれない不安な気持ちから諦めてしまうこともあります。子ども達の会話からは「皆、すぐできるようになってる」と話す中、ある子が「すぐにはできないよ」とひと言。「できないと思ってたらずっとできないよ」「何回もできるって信じてたらいつかできるようになるよ」と何回も繰り返し練習した経験があるからこそ感じ

たまっすぐな気持ちを伝えていました。友だちの姿をみて「どうやってするか教えて」と実践する様子をじっくり見ながら練習をしています。励ましの言葉やできた時に一緒に喜ぶ姿、お互いが高め合う良い刺激になっているよう



です。最近では逆上がりに挑戦する子が続出中、何度も繰り返し練習する姿が見られます。跳び箱、大縄跳び、竹馬、けん玉など今までやってみたことがなかった未知な世界が挑戦する気持ちや自分を信じることの大切さを知る機会にもなっているようです。

“担任の想い”

このひみつの時間に個々に様子を見る中で、保育者がイメージしていたことより、一人ひとりが主体となって活動することならではの視点や考えに気付かされます。様々なことが子ども達の興味、関心に繋がっていると改めて感じる事が出来ました。大人でも45分間座って何か取り組むことや、集中が途切れ難いこともあります。この45分をどのように使うか想像して考えることや先を見通すことにも繋がっているように思います。自分の好きなものだからこそ夢中になって自分を見つめる時間にもなっているようです。子ども達一人ひとりが体験したこと、考えたことが、今後自分で考えること、自分の力で最後までやってみることを大切に一人ひとりが『生きる力』を身に付けられるよう進めていきます。

日笠 加菜

保護者の方からのおはなしコーナー

食事をしている時、スプーンを持つ手が以前よりしっかりつかめていたり、オムツ替えの際、立ちながらできたり、まだ保育園生活がはじまり間もないですが小さな成長をとても嬉しく思います。

ふたば組 ゆきさん

年長さんになり小さい子達のお世話をすることに責任を持ったり、どうするのがいいのか自分で考えてみてから行動しようとする姿が見られるようになりました。園最後の1年を楽しく過ごしてね。

だいち組 なつこさん

7月で5歳になった娘。最近よく園で書いてきたお手紙をくれます。「ままだいすき」「ま」が逆さまだったり、「だ」の点が1つ多かったり…今では完璧に！

「すごいねぇ！！」と言うと返してくれるキラッキラ笑顔がたまりません！

ひかり組 ゆきこさん

何をするにも夫に申し訳ないくらいに「お母さんと!!」と言っていた息子。

しかし最近ではお風呂も寝るのも「お父さんと!!」と言うことが増えてきました。

いつかは…と覚悟していましたが、寂しいものです。

とはいえ、まだまだたくさん甘えに来てくれるので、息子が安心できる場所になろうと決意を新たに母なのでした。

いぶき組 まどかさん

新しい生活様式になり、引き出しの中の確認ができなくなり、息子から「～ないから持っていかない…」と自分で用意します。私がついつい予備をリュックへ入れると「もー！引き出し片づけないとあかんようになるから勝手に入れんといてー」と言われてしまい…。

いつの間にかしっかりしていてびっくりです！

ひかり組 みきさん

「今日は何の日？」「今日はどこ行くの？」自粛生活中の息子の口癖でした。今は朝起きると「今日保育園？」と聞いてきます。

そのあとカレンダーを見て日にちの確認、

父母が仕事の日か、父が帰って来る日か（週に1回泊まり勤務があるため）、夜ご飯のあとのお菓子を食べれる日か、おもちゃのお片付けをする日か、DVDを見ていい日か、カレンダーについている我が家のオリジナルマークを見て社長秘書のように確認している姿がとてもおもしろいです。

いぶき組 みきさん

昨年と比べて、だいち組になってから、竹馬や鉄棒など出来ないことに落ち込んだり、一人称が〇〇ちゃんからたまにオシになったり、受け答えがぶっきらぼうになったりしてだんだん少年になっていく様は、うれしいようなさびしいような…。でもまだまだ甘えたでたまに弟の相手もしてくれる優しい息子です。

だいち組 あいこさん

☆お台所より☆

蝉の声に本格的な夏がやってきました。これからますます蒸し暑さも続いていきます。暑さに負けず食欲のすすむ食事を作り暑い夏を乗り切ってもらいたいと思います。引き続き感染症、食中毒に注意し食事作りをしていきます。

～7月の取り組みについて～

- ・七夕の集いでは、天の川をイメージして作ってみました。
お星さま（にんじんとたまごの星型）を散りばめ、あいにくの雨でしたがお寿司で天の川を再現できました。



- ・幼児クラスで育てたきゅうりを子どもたちがごはんの部屋に嬉しそうに持ってきて「先生見て」「めっちゃ大きいの取れたよ」と見せてくれました。とても立派に育っていて、採れたてのきゅうりはお昼ご飯の時にさっと茹でて食べました。



- ・つぼみ組では栽培したトマトをジャムにして食パンに塗って食べました。



8月も夏の美味しい食材を子どもたちと一緒に楽しみたいと思います。

～食欲のすすむメニューと食材

冬瓜スープ～

※冬瓜にはカリウムと豊富な水分が含まれており、夏バテから体調を守ってくれる働きがあります。

(材料 2人前)

冬瓜	80g
鶏もも肉	40g
水に戻した干しいたけ	10g
すりおろした生姜	少々
かつお昆布だし	400cc
しょうゆ	小さじ3
塩	少々

(作り方)

- 1.冬瓜は種と皮を取って、一口大に切る。水に戻した干しいたけは千切りする。
- 2.鍋にかつお昆布だしを入れ、鶏もも肉を入れて、火が通ったら冬瓜を入れ冬瓜が柔らかくなったらすりおろした生姜、しょうゆを加え、塩で味を整えれば、出来上がり。

～7月の誕生会メニュー～



誕生会のメニューはみんなが大好きなハンバーグを作りました。ケーキの上にはすいか・みかん・ももをのせてみました。「いろいろな色がケーキの上に乗ってかわいい」「もちもちだね」と大好評でした。



- ・8月8日(土)～17日(月)は夏季保育です。できるだけ家庭保育にご協力ください。
- ・衛生対策として夏の間、業者による害虫駆除(蚊・ゴキブリ)を行います。
- ・保育実習生の受け入れを行います。感染症対策を行いながら受け入れます。
 - * 3日～14日 関西学院大学2名
 - * 17日～29日 神戸常盤大学3名
 - * 19日～29日 神戸親和女子大学1名
 - * 31日～9月10日 神戸常盤大学3名

こんなことしたよ♪

- ・7月7日に七夕の集いを行いました。七夕に向けて作った笹飾りを園内に飾り、七夕の楽しい雰囲気味わう事が出来ました。幼児さんは、はま・かぜグループに分かれて、盆踊りや星のお話を楽しみました。ライトテーブルやプラネタリウムを使って行われた星のお話をとても真剣に聞いていました。ランチルームでは乳児さんも参加してみんなで盆踊りを楽しみました。



- ・7月4日に同園会を行いました。今回はお泊りはできませんでしたが、45分ほどで学年に分かれておこないました。貝殻アートやゲームで束の間でしたが再会出来ました。



- ・コロナウイルスの感染が拡大してきました。園は菌が蔓延する場合があります。保護者の方がお休みの日はできるだけ家庭保育をお願いします。保育を希望される場合はお昼迎えまたは4時ころまでの保育にご協力ください。

- ・体調管理をしてください。衛生管理に努め、丁寧に消毒等を行っていますが新型コロナウイルスの終息はまだまだです。お子様の発熱・体調不良の場合保育はできません。

登園時の検温でも微熱があった場合もお迎えを要請します。ご理解、ご了承ください。また、解熱しても2～3日はご家庭で様子を見ていただき無理をして登園することは避けてください。

- ・**毎身体拭きタオルを持ってきてください**
袋・タオルに名前を書いてください。

- ・着替え等は持ち帰った分を翌日持ってきて頂くようご準備ください

- ・暑い日でも水分補給は冷たいものでなく常温水をこまめに摂取してください。

ひやりんは常温で提供しています。

- ・熱中症対策として、全園児毎朝一口サイズのチーズを食べ塩分補給をします。

暑い夏を元気に過ごしましょう。

- ・幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます。(1枚250円です)

- ・8月上旬～9月下旬にかけて職員が休暇をとらせて頂きます。職員全体で保育を進めていきます。8月(夏季保育8日～17日)はできるだけ家庭保育にご協力下さい。



8月予定

- 5・28日 絵画
- 6・20・27日 体操
- 19日(水) 誕生会
- 26日(水) 再(未提出)尿検査
- *必要な方にはお知らせします